

簡単!

PowerPointを使って、 動画コンテンツを作成する方法



※ 無断引用や転載、第三者への送信禁止。

目次

Index

1. 動画の基となるPowerPointファイルを用意する
2. 動画化するのにふさわしいスライドかを確認する
3. トークスクリプト（ナレーション原稿）を用意する
4. スライドとトークスクリプトを使って練習する（リハーサル）
5. 動画撮影・音声収録
6. 出力した動画ファイルの確認
7. リリース後に、視聴者の感想を聞く
8. おわりに

1. 動画の基となるPowerPointファイルを用意する

まずは、研修、勉強会やセミナーなどで使用しているスライドなど、動画コンテンツの基となるPowerPointファイルを用意することから始まります。

くわえて、**内容自体に過不足がないか、今一度、点検をしましょう。**

動画化を行った後で、「**あ、この情報は古かった**」となると、作業はやりなおしになってしまうので、十分に点検をするようにしてください。



2. 動画化するのにふさわしいスライドかを確認する

内容の確認が取れたら、「このスライドは、動画化するのにふさわしい出来だろうか？」という観点でも見ていきましょう。

具体的なチェック項目は、以下のとおりです。

- ✓ 1枚のスライドに多くの情報を詰め込んでいないか
- ✓ 文字のサイズが小さすぎないか
- ✓ 文字の量が多すぎないか
- ✓ アニメーションが多用されていないか
- ✓ ハイパーリンクが使われていないか
- ✓ 著作権に抵触するイラスト・写真が使われていないか



3. トークスクリプト（ナレーション原稿）を用意する

スライドの準備ができたなら、次は**トークスクリプト（ナレーション原稿）**を用意しましょう。

原稿は必ず用意をしましょう。Word等に作成しても構いませんが、各スライドのノート欄に、それぞれのスライドごとのトークスクリプトを入力するようにした方が便利でしょう。

そして、**気をつけたいのは、「聞きやすい言葉になっているか」という点です。** 必要性のない場面で、馴染みのない難しい言葉を使わないようにしましょう。例えば、「**架電しましょう**」であれば、「**電話をしましょう**」の方が分かりやすいです。



4. スライドとトークスクリプトを使って練習する（リハーサル）

スライドとトークスクリプトが完成したら、リハーサルを行いましょう。

可能であれば、職場のどなたかに聞いていただくとより良いで**PowerPointをスライドショーモードで投影しながら、実際に原稿を発声していきます。**しょう。客観的な意見を得ることができます。

この工程は、話者（あなた）自身のプレゼンテーション技術向上に寄与するだけでなく、**スライドやトークスクリプト上のミス、改善点に気づく効果も期待できます。**

気づいたことがあればすぐに資料へ反映し、再度、リハーサルを行うようにしましょう。



5. 動画撮影・音声収録

手順④までの準備がすべて終わったら、いよいよ動画撮影・音声収録をしていきます。

詳しい操作手順を、約3分の動画にまとめているので、こちらをご視聴ください。

動画URL：<https://youtu.be/ypvkY1n3fx0>



6. 出力した動画ファイルの確認

完成した動画は、入念にチェックをしていきましょう。

スライドの点検は事前に十分行っていると思いますが、話者自身のパフォーマンスはどうでしょうか。聞き取りやすい発声になっているでしょうか。

心配であれば、職場のどなたかにも視聴していただき、ご意見を頂きましょう。

ただし、**100点満点を目指す必要はありません**。作り手自身すら満足するような完璧なコンテンツを作ることは、プロであっても至難の業です。

「まあ、70～80点くらいだな」と思えるレベルであれば、十分、リリース可能な出来であると判断して良いでしょう。

費用対効果の観点からも、くれぐれも100点満点を目指さないことが大切です。



7. リリース後に、視聴者の感想を聞く

eラーニングは「やらせっぱなし」ではいけません。ぜひ、実際に視聴した方々の感想を、何らかの形で伺うようにしましょう。

たとえば、アンケートの実施などがあり、その場合、


- ✓ スライドは見やすかったか
- ✓ 動画の長さは適切だったか
- ✓ 音声は聞き取りやすかったか
- ✓ 退屈せずに集中して視聴できたか
- ✓ 内容について理解ができたか

最低でもこの5点は伺っておくことをお勧めします。

もちろん、感想を集めるだけでなく、その結果を次回への改善に活かす姿勢が大切です。



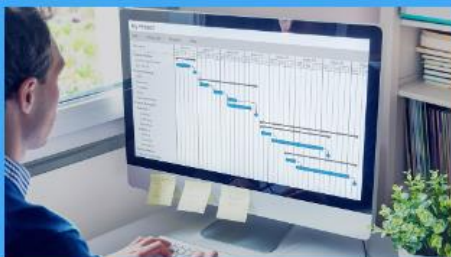
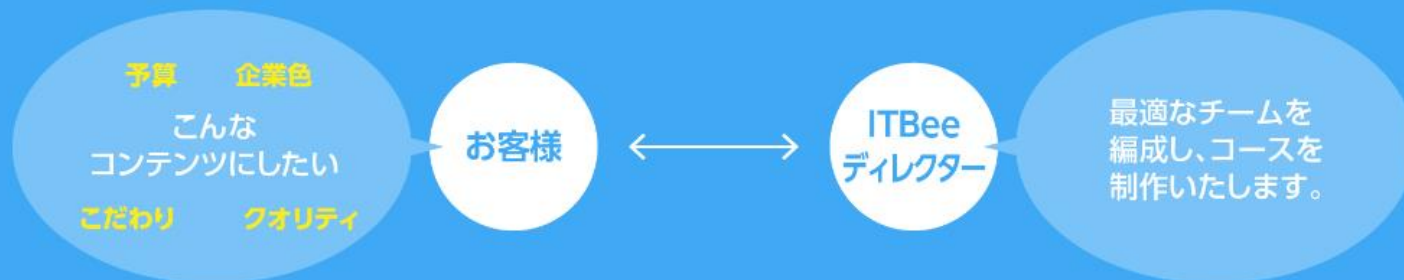
8. おわりに

A person with long brown hair is seen from behind, sitting at a desk and working on a computer. The computer monitor displays a dashboard with several colorful circular charts and graphs. The scene is dimly lit, with the primary light source being the computer screen. The overall atmosphere is professional and focused on data analysis or content creation.

eラーニング コース制作

研修・セミナー・授業・資料から
eラーニングコースを作成します

企画設計から原稿作成・編集まで、 コース制作のすべてをお任せいただけます



企画・設計

伝えたいコンテンツに応じて、伝わりやすい学びやすい構成を設計・提案いたします。



原稿制作

内容を加味して受講者が理解しやすいワードや言い回しにて原稿を制作します。



デザイン

文字サイズ、フォント、強弱、色、バランス、トーンなどを統一し、魅力あるコースにしていきます。



音声収録

プロのナレーターによるナレーションのアテレコを専用スタジオで行います



撮影

研修の撮影はもちろん、工場の設備やシステム等の操作手順など現場の撮影などにも対応いたします。



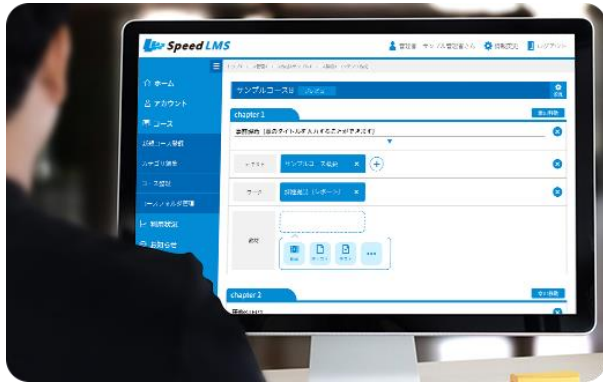
動画編集

チームで行ったクリエイティブを最終的に一つの動画にまとめていきます。

動画配信ツールとして × 情報シェアツールとして × 知識のインプットツールとして

eラーニングシステム 「Speed LMS」製品紹介

eラーニングシステムで働き方の改革を！



「使いやすさ」にこだわったeラーニングシステム！

SpeedLMSは、ITに不慣れな方でもシステム操作で迷わないように、できるだけ簡単に使えるように考え抜かれたシステムです。アイコン操作から、簡単にコースが作れる機能や、動画を配信に最適な形に変換してくれる機能、期限間際の受講者に自動でフォローメールを送信する機能など、できるだけ管理者に負担がかからないように設計されています。Pro版ではさらに、運用上必要な機能の追加、サービスにあったデザインの変更など、カスタマイズを自由自在に行う事が可能です。



セキュリティを重視！開発もデータセンターも日本国内

お客様の大切な個人情報、機密情報をお預かりするために、ITBeeでは様々な取り組みを行っております。情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC 27001:2013）（認証登録番号：JP20/080626）を取得。クラウドサービスは、日本国内のIIJ社のGIOを利用。海外に情報が流出しないように配慮しております。プログラムの開発は全て自社内にて行っております。



わかりやすい料金設定。業界最安のプランもあり！

他社様のシステムをご利用のお客様から、基本料金以外に必要なオプションが多すぎて、結局高くてしまうというお声を多数頂いております。SpeedLMSでは、月額のご利用料金の中に動画配信も含めたすべての機能（カスタマイズ機能除く）の費用が含まれます。登録ID数もしくは同時接続数による料金と、Diskの容量による料金のみとなり、動画の配信における「流量課金」はございません。配信時間を気にせずお使いいただくことが可能です。



お問合せはこちら

 03-6276-7142

 info@itbee.co.jp

担当者 : 山中

受付時間 : 10:00~18:00 (土日祝除く)

公式サイト

Web <https://itbee.co.jp>